

(様式 1-3)

福島県 (川内村) 再生加速化事業計画 再生加速化事業等個票

平成 26 年 4 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	2	事業名	大津辺地区仮置場環境モニタリングシステム運用事業	事業番号	(3) 11
交付団体	川内村		事業実施主体 (直接/間接)	直接	
総交付対象事業費	24,238 (千円)		全体事業費	52,215 (千円)	
再生加速化に関する目標					
<p>川内村復興の一環として村内の除染作業が進められ、それに伴い大量の汚染土や木質系の廃棄物が発生し、仮置場に保管されている。このため周辺住民に強い不安を与えるばかりでなく、避難者の帰村の妨げにもなっている。よって、仮置場の空間線量等の状況をリアルタイムで把握するためのモニタリング設備を設けて、その情報を公表することで仮置場周辺の生活環境の安全・安心を担保し、地域再生を進める。</p>					
事業概要					
◎モニタリング設備 空間線量計 7 基 地下水モニタリング 1 基 木質系廃棄物内の温度計 10 本、監視カメラ 3 基 データ転送システム 1 基 気象測定器 (気温、湿度、風速、雨量) 1 基 モニタリングシステム保守・データ監理 1 式					
◎『第四次川内村総合計画』					
・ P. 22 [I]暮らしを守り・生活を高める村 1. 農村空間を活かした快適な村づくり (1) 総合的土地利用 ②課題 「豊かな田園風景を維持していくためには、農業の再開及び継続は必須であり、そのためには放射能汚染の状況に関する継続的なモニタリングと適切な除染作業が求められる。」					
・ P. 71 [V]新たな創造に取り組む村 1. 復興のフロンティアとしての村づくり (3) 除染及び放射能管理への対応の強化・充実 ③施策の方向と具体的内容 「除染を徹底して行うとともに引き続きモニタリングを行うなど、放射能管理への対応を強化・充実し、村民が安心して暮らしていくことのできる生活環境づくりのため、国や福島県と連携し早期な対策を進めて行く。」					
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 26 年度> モニタリングシステム保守・データ監理 24,238 千円					
<平成 27 年度> モニタリングシステム保守・データ監理・システム撤去 27,977 千円					
地域の再生加速化との関係					
仮置場の線量状況や廃棄物の温度、地下水の汚染状況をリアルタイムで把握し、データを積み上げるとともに、その情報をホームページ等で公表していくことで、周辺住民の安全安心を担保し、避難者の帰還を促し、地域再生を進めていく。					
関連する事業の概要					

鍋倉地区に監視モニタリングシステム運用事業を予定。

◎モニタリング設備 空間線量計6基 地下水モニタリング1基
木質系廃棄物内の温度計10本、監視カメラ1基
データ転送システム1基 気象測定器(気温、湿度、風速、雨量)
1基 モニタリングシステム保守・データ監理1式

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	